

Uniprosyn PS-18

(ユニプロシン PS-18)

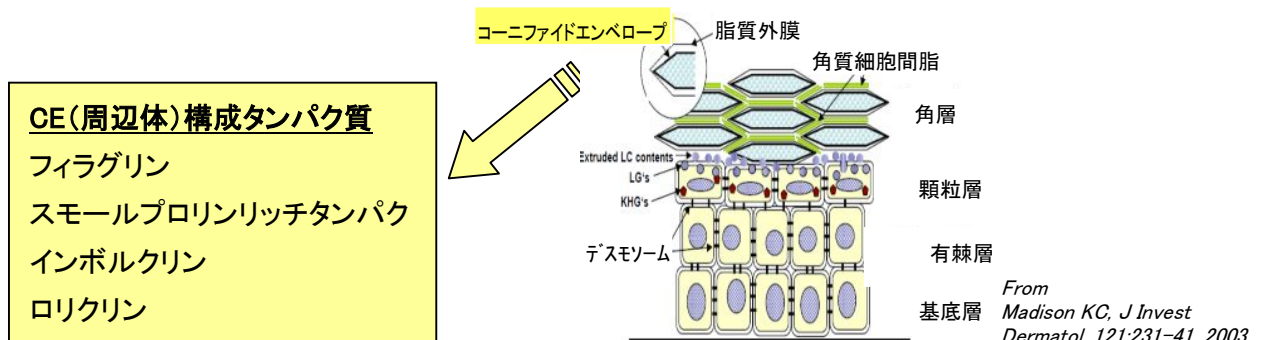
タンパク質合成を促進し、シワを軽減

【特長】 表皮・真皮でのタンパク質合成を促進
角化プロセスをサポートし、肌表面の荒れを改善

【コンセプト】

皮膚のバリア機能に関して最も重要な構造は、角質細胞間にある脂質多重層構造です。これを恒常的に構築する細胞が表皮ケラチノサイトであり、その最終分化細胞の角質細胞は、強靱な細胞シート構造を保ち、脂質多重層を柔軟に、かつ強く保持しています。皮膚の最外層を構成する角質細胞を包むタンパク質の膜状構造「コーニフィドエンベロープ(CE)」が水分蒸散やUV、外部からの刺激に対するバリア機能に重要な役割を果たしています。このCEの機能を維持するのに、フィラグリンとスモールプロリンリッチタンパクといったタンパク質が必要になってきます。

Uniprosyn PS-18バイオ複合体は、CE機能の維持に必要なタンパク質合成能力を促進し、角化プロセスをサポートするように設計された有効成分の複合体です。タンパク質合成が促進された肌では、シワが軽減し、また、肌表面の荒れが改善されます。



From
Madison KC, J Invest
Dermatol, 121:231-41, 2003

～タンパク質合成を促進する3つの理由～

1. タンパク質の素 or 前駆体を肌に供給。

加水分解カラスムギタンパクは、グルタミンとグルタミン酸を豊富に(29%)含み、タンパク質の素 or 前駆体になります。

2. 合成促進させる物質を供給

ナイアシンアミドとアデノシン三リン酸は、タンパク質合成に関連する酵素反応を増加させます。

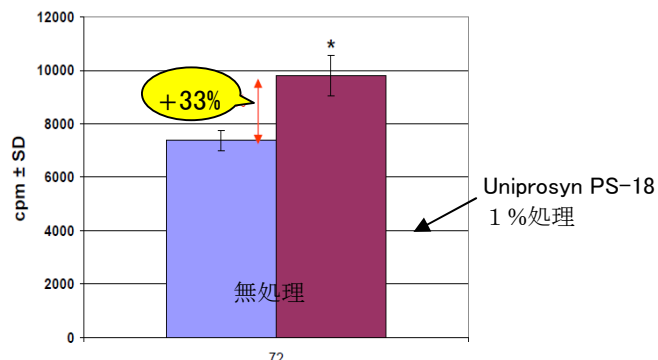
3. グルタミン受容体を通じて合成のスイッチをON

グルタミンは、角化細胞の表面にある受容体を活性化して、タンパク質合成を促進します。

【効果・効能】

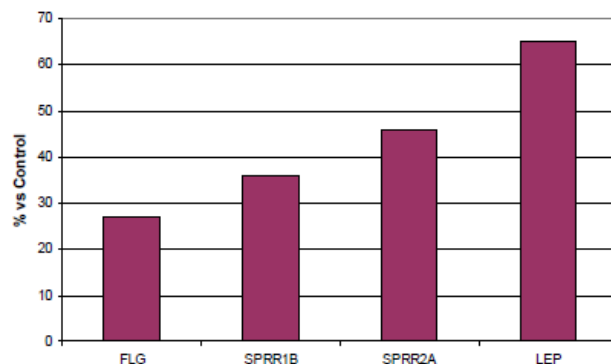
①皮膚におけるタンパク質合成(In-vitro)

Uniprosyn PS-18 1%水溶液を三次元皮膚モデルにて培養、72 時間後におけるタンパク質合成(³H-ロイシンの取込量)は未処理品と比較したところ、33%増加しました。



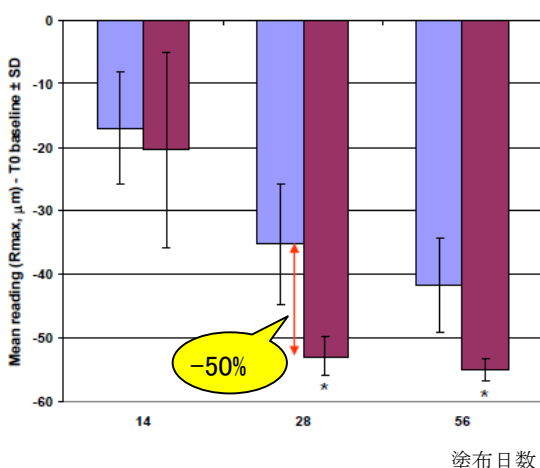
②角化プロセス促進 cDNA マーカーの増加(In-vitro)

三次元皮膚モデルにおける cDNA チップの分析において、Uniprosyn PS-18 1% 処理したものは、フィラグリン、スモールプロリンリッチプロテインなどのタンパク質を増加させることが確認されました。

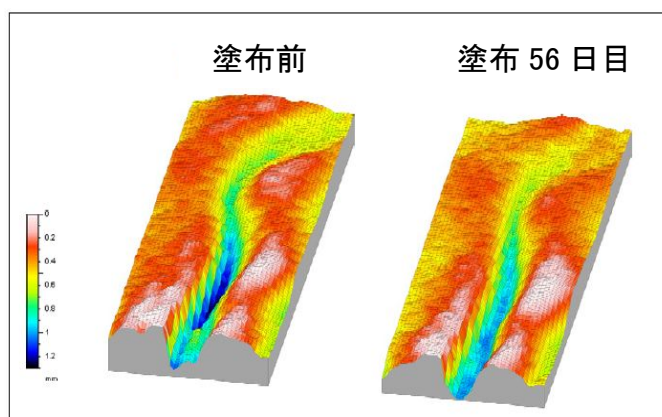


③シワの改善(In-Vivo)

25 名(女性:37-65 歳、平均年齢:44 歳)



Uniprosyn PS-18 3%クリームを 1 日 2 回塗布したとき、28 日後にはプラセボと比べ、シワの深さが約 50%改善しました。



3D イメージ

【商品情報】

商品名: Uniprosyn PS-18(ユニプロシン PS-18)

表示名称: 水、BG、加水分解コムギタンパク、ナイアシンアミド、アデノシン三リン酸

製造元: Induchem(スイス)